

厚生病院だより

すずかけ

第33号 平成22年4月20日

発行／鳥取県立厚生病院 編集／院内広報委員会



当院ヘリポートから大山を望む

第33号の内容

消化器内科の新設	…2
脊髄外来の新設	…3
心臓血管外科外来の新設	…3
糖尿病療養指導室の開設	…4
ストーマ相談室の開設	…4
新型インフルエンザ第一波流行時の対応	…5
眼科診療変更のお知らせ	…5
新任医師・退職者紹介	…6
診察予定表(4/18～)	…7

更なる高度医療の推進に向けて

桜満開の中、平成22年度が始まりました。

昨年度は、呼吸器内科と消化器外科の新設、閉鎖していた7階病棟の再開、院内育児施設の開設、助産師外来・助産師分娩等を進めながら、新型インフルエンザにも何とか対応してまいりました。

今年度は、4月から消化器内科医、消化器外科医、整形外科医、麻酔科医の各々1名ずつの増員を得ました。これにより、消化器内科が独立・新設され、消化器外科の増員と相まって、消化器疾患診療の強化が期待されます。一方で、循環器内科では医師1名の減員があり、眼科では常勤体制から非常勤体制へと、一部の診療科で診療の縮小を余儀なくされたことは、誠に残念なことでした。



厚生労働省に申請中であった当院の「がん診療連携拠点病院」資格については、全国で指定の取消となる病院が続出する中で、このたび、引き続いての指定を得ることができました。

今後とも、がん診療を含めて、あらゆる疾患への高度医療の更なる推進に全力を尽くす所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

院長 前田 迪郎

厚生病院の基本理念

思いやりと優しさ、真心のこもった信頼される病院

優れた医療を提供し、地域と密着した病院

職員の和を尊び、働きがいのある病院

『消化器内科』の新設

この春、満を持して消化器内科が開設されました。

現在は三朝温泉病院におられる石飛誠一先生をはじめ、諸先輩方の伝統を受け継いでいます。また、内視鏡や消化管診療で山陰地方をリードしてきた鳥取大学医学部第二内科の流れを酌んでいます。

消化器内科は、胃癌や大腸癌、肝臓癌などの悪性疾患と慢性肝炎や胃潰瘍、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎やクローン病）などの良性疾患を主に担当します。

内科というと、病気を診断して、おくすりで治療するというイメージかもしれませんが、消化器内科では胃癌や大腸癌などの内視鏡治療（ESD：内視鏡で癌をはぎ取ります）や肝臓癌の焼灼療法（RFA：内視鏡で焼き切って治療します）など、直接、癌巣にアプローチする治療もおこなっています。

平成20年における内視鏡を使用した検査や治療の実績は、次のとおりです。

○上部消化管内視鏡（胃カメラ）	約2500件
○大腸内視鏡	約800件
○膵胆道造影検査	約100件
○胃癌の粘膜下層剥離術	約40件
○肝臓癌の焼灼療法	約20件

メンバーは次のとおりです。

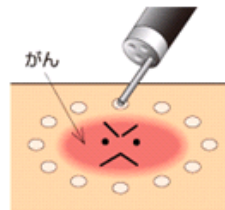
佐藤	徹（S61年卒）
野口	直哉（H7年卒）
北村	厚（H8年卒）
山本	了（H11年卒）
万代	真理（H13年卒）
永原	天和（H14年卒）
川田	壮一郎（H20年卒）

今後も伝統を大切にしながら、新しい診断法や治療法にも取りくみ、消化器外科、放射線科と連携をとりながら地域の皆さんに安心して医療を受けていただけるよう努力していきますので、よろしくお願いいたします。

消化器内科部長 野口直哉

<ESDの手技>

(1)マーキング
内視鏡を胃の中に入れ、病変の周辺に切り取る範囲の目印をつける



(2)局注
粘膜下層に薬剤を注入して浮かせた状態にする



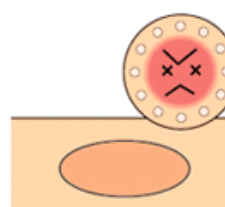
(3)切開
マーキングを切り囲むようにナイフで病変部の周囲の粘膜を切る



(4)粘膜下層の剥離（はくり）
専用ナイフで病変を少しずつ慎重にはぎとる



(5)切除完了
ナイフを使って最後まで剥離（はくり）する、または最後にスネアで切り取る



(6)止血
切り取ったあとの胃の表面に止血処置を施し、切り取った病変部は病理検査に出すため回収する

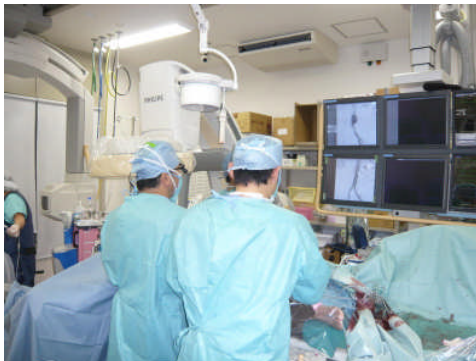


『心臓血管外科外来』（専用診療日）の新設

平成22年4月から、毎月第1・第3金曜日に心臓血管外科外来を新設しました。

当院の外科における心臓血管外科系の治療では、従来は大動脈瘤症例に対する直達手術（人工血管置換術）が主流でしたが、最近では、瘤切除を行わないステント（血管などを内部から拡げる器具）留置による低侵襲手術が主体になりました。さらには、閉塞性動脈硬化症や血栓症の手術も多く実施しています。

このたび、鳥取大学医学部附属病院第二外科の西村教授に心臓外科系診療を中心とする特別診療をお願いすることになり、外科外来の中に「心臓血管外科系」専用の診療日を新設しました。



腹部大動脈瘤ステントグラフトの様子

次のような疾患の診療を想定していますので、遠慮なく当院にご相談いただき、ご利用くださるようご案内いたします。

1. 心臓外科の手術適応、および開心術症例の術後管理
2. 心不全症例の管理

☆担当医師：西村元延医師

（鳥取大学医学部第二外科教授）

☆診療日：毎月第1・第3金曜日 午前9時～12時

☆場所：外来棟1階 外科外来診察室

外科部長 吹野俊介

『脊髄外来』の新設

平成22年5月から、第2・第4水曜日に脳神経外科専門外来として脊髄外来を新設します。

次のような症状のため、脳卒中などの頭の病気が心配で検査（CT、MRI）を希望される方の中には、頭蓋内に異常はなくても、脊髄に関係した病気が隠されている場合があります。

症 状	隠されている病気
<ul style="list-style-type: none"> ○手に持っているものをよく落とす ○字が書きにくくなった ○よくつまづく ○数分歩くと休まなければならない 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 脊髄血管障害（動静脈奇形など） (2) 脊髄腫瘍（髄膜腫・神経鞘腫など） (3) 脊髄空洞症 (4) 変形性脊椎疾患 （後縦靭帯骨化症・椎間板ヘルニア・腰部脊柱管狭窄症など）

症状は手術によって改善する場合がありますが、手術適応の判断はより専門的な知識と経験を要します。そうした方のためにも特殊専門外来を設置しました。頭の病気の可能性も含め診察いたします。

その他あまり聞きなれない病気で、頭蓋頸椎移行部病巣、キアリー奇形、脊髄髄膜瘤、脳脊髄液減少症などの疾患を診察いたします。

☆担当医師：赤塚啓一医師（鳥取大学医学部脳神経外科助教）

日本脳神経外科認定医

日本脊髄外科学会認定医

☆診療日：毎月第2・第4水曜日 午前9時～12時

☆場所：外来棟1階 脳神経外科外来診察室



赤塚医師

副院長兼脳神経外科部長 紙谷秀規

『糖尿病療養指導室』の開設

日本では糖尿病患者様は増加の一途を辿り、糖尿病及び糖尿病を強く疑われる患者数は、約2210万人と言われていています。それに伴い、糖尿病の3大合併症（神経障害・網膜症・腎症）、大血管障害（脳梗塞・心筋梗塞・下肢動脈閉塞）などの発症も増加し続けており、日常生活に支障をきたす患者様も増加しています。

当院は県中部最大の急性期病院で、急性期の患者様には糖尿病を基礎疾患としている人が多く、継続的な療養支援が必要となります。

糖尿病は長期にわたり食事療法・運動療法が基礎になり、インスリン治療・内服などの薬物療法が加わっていきます。日常生活の自己管理が病気の予後を大きく左右する病気です。

このたび3月から、糖尿病の患者様の様々な悩みやご相談にお答えするため、日本糖尿病療養指導士が糖尿病療養指導室を開設しています。

主治医の指示のもと、完全予約制で火曜日・木曜日に行っています。療養相談をご希望の方は、主治医へご相談ください。



外来副看護師長 政門玲子

『ストーマ相談室』の開設

当院外科外来では、ストーマ保有の患者様とご家族を対象に、専門知識を持つ看護師が今まで以上にきめ細かな個別相談・指導に対応するため、本年1月からストーマ相談室を開設いたしました。

ストーマ相談室は次のことを目的としています。

- ①ストーマ保有の患者様とご家族に、必要なときに、専門の看護師が個別にケアを提供していきます。
- ②ストーマ保有の患者様とご家族を、不安や悩みがいつでも相談できる場所としてサポートしていきます。

ストーマ相談室は、毎週月・水・金曜日の午後、予約制で実施しています。どんな些細なことでも遠慮なくお尋ねください。

予約のお問い合わせは、外科外来、消化器外科外来、または地域医療連携室までお願いします。



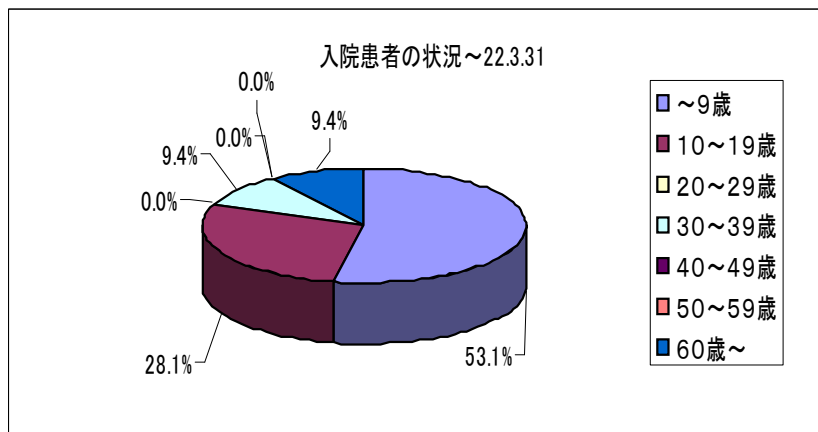
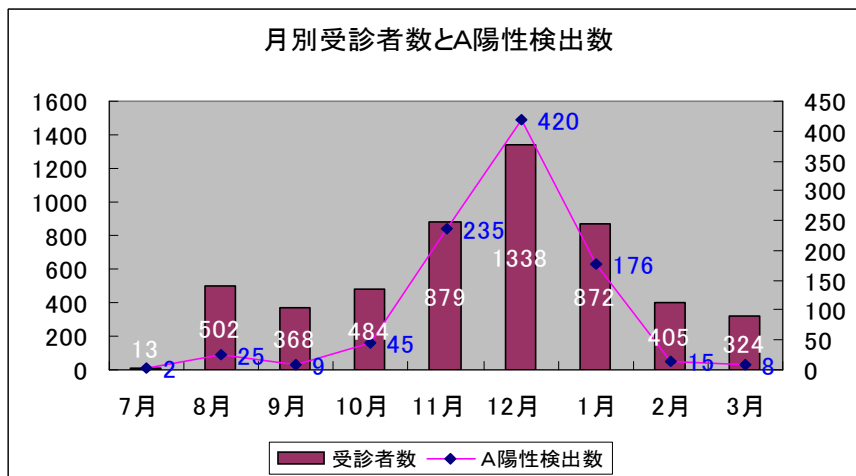
外来看護主任 生田奈緒美

新型インフルエンザ第一波流行時の当院の対応

平成21年4月24日(金)深夜、新型インフルエンザがメキシコ・アメリカで発生したとの連絡を倉吉保健所から受け、翌日から山陰地方では唯一の第1種感染症指定医療機関として病院の全力をあげて対応してきました。

発生から現在(3月31日時点)までに、入院患者数は32名、外来では延べ5,185名の診療を行いました。

患者様やご家族の皆様には、マスクの着用・面会時間の短縮などご協力をいただき、おかげさまで院内での発生もなく、第一波の収束を迎えることができました。



また、中部医師会には夜間診療を分担していただき、中部の救急医療体制が崩壊することなく流行のピークを乗り切ることができました。

利用者の皆様・関係者の皆様、誠にありがとうございました。

医療安全・感染防止対策室一同

眼科診療変更のお知らせ

平成22年4月から、眼科外来の診察が次のとおり週2回となり、いずれも鳥取大学医学部附属病院の医師により診察が行われます。

- 火曜日：縄田信彦医師
- 金曜日：唐下千寿医師

診察日が少なくなったことで患者様にご不便をおかけしますが、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

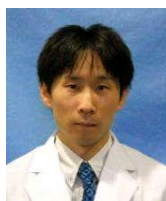
また、当院で受診しておられた患者様の受入れなど、地域の眼科医療機関のみなさまのご協力にお礼申し上げます。



新任医師紹介



外科
大月 優貴(専攻医)



小児科
岡山 良樹(専攻医)



脳神経内科
伊藤 悟(副医長)



消化器内科
川田 壮一郎(専攻医)



消化器内科
永原 天和(副医長)



研修医
中山 明香里



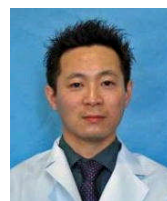
麻酔科
高橋 俊作(副医長)



放射線科
橋本 政幸(部長)



消化器外科
竹本 大樹(医長)



整形外科
能勢 道也(医長)

退職者

医師

内科

石井 裕繁(三月三一日付)

三好 謙一(三月三一日付)

脳神経内科

今村 恵子(四月一七日付)

小児科

片山 章(三月三一日付)

外科

岡田 泰司(二月二八日付)

眼科

八幡 健児(三月三一日付)

放射線科

矢田 晋作(三月三一日付)

研修医

下田 竜吾(三月三一日付)

長期勤続退職者

看護局

里田 久美子

山崎 陽子

中川 都子

事務局

澤住 六津恵

お世話になりました。

各種訓練の紹介

当院では、災害や事故により一度に多数の傷病者が発生した場合の対応、救急患者の受入れや搬送、火災発生時の消化・避難などの訓練を独自に実施したり、国や県などが実施する訓練に参加したりしています。最近の訓練の様子をご紹介します。



H22.2.27 トリアージ訓練
トリアージとは多数の傷病者を重症度と緊急性によって分別し、治療の優先度を決定するものです。



H22.3.18 火災時の避難訓練
写真は病棟5階に設置された筒状の避難器具の中を滑り降りて避難する様子です。



H22.4.8 患者搬送訓練
写真は「ドクターヘリ」により当院屋上のヘリポートへ救急患者が搬送された様子です。

外来診察日程表

平成22年4月18日現在

科名 / 曜日		月	火	水	木	金	土	
内科	一 診	佐藤 徹	山本 了 (腎臓内科)			PM 山本 了 (腎臓内科)	診	
	二 新 診 患	金藤 英二	永原 天和	佐藤 徹	秋藤 洋一	野口 直哉		
	三 診	森 正剛 (循環器内科再診)	村脇あゆみ (糖尿病・内分泌)	秋藤 洋一 (総合内科)	松澤和彦(鳥大) (糖尿病・内分泌)	永原 天和 (肝臓)		
	四 新 診 患	秋藤 洋一	北村 厚	万代 真理	村脇あゆみ	岩垣 尚史		
呼吸器内科		岩垣 尚史 (肺癌検診・再診)		山本 芳磨	山本 芳磨			
消化器内科		万代 真理 (肝臓)	野口 直哉 (消化器)	川田壮一郎 (消化器)	北村 厚 (消化器)	金藤 英二 (肝臓)		
循環器内科		澤口 正彦	森 正剛 (救急対応・院内紹介)	澤口 正彦	森 正剛 (救急対応・院内紹介)	森 正剛		
脳神経内科		伊藤 悟		伊藤 悟	伊藤 悟 (初診のみ)	伊藤 悟		
外科	一 診	田中 裕子	吹野 俊介 (呼吸器・消化器)	林 英一 (乳腺・消化器)	林 英一 (乳腺・消化器)	吹野 俊介 (呼吸器・消化器)		
	二 診	児玉 渉	上平 聡 (心臓血管)	大月 優貴	浜崎 尚文 (心臓血管)	児玉 渉		
	三 診					第1・第3金曜日 西村元延(鳥大)		
消化器外科		西江 浩	前田 迪郎	岩本 明美	竹本 大樹	岸 清志		
脳外	一 診	紙谷 秀規	石橋美名子		紙谷 秀規	石橋美名子		
	二 診	石橋美名子 (予約診)	紙谷 秀規		石橋美名子 (予約診)	紙谷 秀規 (脳腫瘍)		
整形外科	一 診	能勢 道也	橋本 達宏	西原 彰彦	西原 彰彦	橋本 達宏		
	二 診	西原 彰彦 (10時まで)	阿藤孝二郎	能勢 道也	阿藤孝二郎	能勢 道也		
動脈硬化外来					PM 浜崎尚文	PM 澤口正彦		
精神科				永見 剛房 (予約のみ)				
小児科	一 診	奈良井 栄	岡山 良樹 (3週間健診あり)	奈良井 栄	岡田 隆好 (3週間健診あり)	奈良井 栄		
	二 診	AM 岡田 隆好 PM BCG接種(注1)	PM 予防接種 (注1)	AM 洲崎 一郎 (脳小外来)(注2)	AM 洲崎 一郎 (脳小外来)(注2)	AM 岡山 良樹 (3週間健診あり) PM 乳児検診(注5)		
	三 診	PM 前垣義弘(鳥大) 脳小外来(注3)			花木 啓一(鳥大) 内分泌外来(注4)	PM 予防接種 (注1)		
皮膚科			塩見 達志(鳥大)					
泌尿器科		村岡 邦康	村岡 邦康	村岡 邦康	村岡 邦康	村岡 邦康		
産婦人科	一 診(婦人科)	門脇 浩司	上垣 崇	澤住 和秀	門脇 浩司	澤住 和秀		
	不妊外来は、 AM8:30~9:00	不妊外来 門脇 浩司	門脇 浩司	門脇 浩司	門脇 浩司	門脇 浩司		
助産師外来	二 診(産科)	澤住 和秀		門脇 浩司	AM 上垣 崇	AM 上垣 崇		
	午前	○		○		○		
眼科	午後	○						
			縄田 信彦(鳥大)			唐下 千寿(鳥大)		
耳鼻いんこう科		橋本 好充	橋本 好充	橋本 好充	橋本 好充	橋本 好充		
放射線科	一 診	橋本 政幸	橋本 政幸	橋本 政幸	橋本 政幸	橋本 政幸		
	二 診	篠原 祐樹 (画像診断)	篠原 祐樹 (画像診断)	篠原 祐樹 (画像診断)	篠原 祐樹 (画像診断)	篠原 祐樹 (画像診断)		
	大 学 応 援	高杉 昌平	矢田 晋作			PM 道本幸一		

(注1) 月曜日のBCG接種、火曜日・金曜日の予防注射は午後からです。予約が必要です。
 (注2) 水曜日・木曜日の脳神経小児外来は予約が必要です。なお、第1木曜日は休診になります。
 (注3) 月曜日の脳神経小児外来は第1月曜日の午後です。予約が必要です。
 (注4) 木曜日の内分泌外来は月2回です。予約が必要です。
 (注5) 金曜日の乳児検診は14時から受付、14時30分開始です。
 ◎診療時間 8時30分から17時まで
 ◎受付時間 ☆新患 8時30分から11時まで
 ☆再来 7時30分から11時まで(自動再来受付機)
 ☆土曜日、日曜日、祝日、平日時間外も救急患者は受付します。

看護師募集!!

当院では、看護師を随時募集しています。
お問い合わせや院内見学をご希望の場合は、
お気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】〒682-0804
鳥取県倉吉市東昭和町150番地
鳥取県立厚生病院 看護局
TEL:0858-22-8181(内線3410)
e-mail:kouseibyouin@pref.tottori.jp

新入看護師の研修風景



大丈夫ですよ～
痛くないですよ～

ホントかな～？

医師臨床研修の修了

3月31日、下田竜吾研修医が2年間にわたる
当院の研修プログラムを修了され、当院院長から
修了証を受け取られました。
今後のご活躍をお祈りいたします。



緊張してる♪♪

(--;))



機械っちゅー
もんはですね～



病院概要

名称

鳥取県立厚生病院

所在地

〒682-0804
鳥取県倉吉市東昭和町150番地
TEL 0858-22-8181(代)
FAX 0858-22-1350(代)
HP <http://www.pref.tottori.jp/kouseibyouin/>

診療時間

午前8時30分から午後5時まで
予約制(再来患者の希望者)もあります

診療科目等

内科 呼吸器内科 消化器内科
循環器内科 脳神経内科
外科 消化器外科 心臓血管外科
脳神経外科 整形外科
精神科 小児科 皮膚科 泌尿器科
産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科
リハビリテーション科 放射線科 麻酔科

受付時間

☆ 新患: 平日 8時30分から11時まで
☆ 再来: 平日 7時30分から11時まで
☆ 土曜日、日曜日、祝日、平日時間外も
救急患者は受け付けます